

埼玉自動車大学校版

T362-0806
北足立郡伊奈町
小室1123番地
048(723)5522

整備士合格証書交付式

409名の整備士が誕生

自動車整備士登録試験合格証書交付式ならびに合格祝賀会を4月22日、パレスホテル大宮にて実施した。

一級自動車整備士50人、二級自動車整備士269人、自動車車体整備士90人の合計409人の新たな整備士が誕生した。

交付式では、代表の林和弥君に合格証書が金子勉校長より授与された。

祝賀会においては、金子校長より「資格取得できた喜びと在学中の努力や思い出を今後の人生の糧として、皆さんの飛躍を期待します」と、祝辞があった。

また祝賀会中に合格者の代表として江原悠斗君より感謝の言葉があり、参加者全員が合格の喜びを分かち合った。



第61回入学式実施

—280名の新生を迎える—

第61回となる入学式を新生280名を迎え、4月10日佐藤由江初代校長記念館で実施した。

金子勉校長が、自分の目標を明確なものとし何事からも学び、知識や技術を吸収していくという姿勢をもつて学校生活をスタートし

て欲しいと式辞を述べた。続いて渡部雄次同窓会会長が先輩の立場として、有地優美子親交会会長が保護者の立場としての祝辞があった。これに対して二級自動車整備科に入学した丸山和暉君が新生代表の言葉を読み上げた。

対面式

新生と在校生の顔合わせとなる対面式を4月16日に佐藤由江初代校長記念館で実施した。金子勉校長から「本校の学生は新生を迎え650名となりました。在校生である先輩は学校行事、サークル活動で率先して新生をリードし、新生はより早く校風に慣れ多くの友人を作ってほしい」と激励があった。新生代表として二級自動車整備科の丸山和暉君が「本校の伝統を継承し、学生として誇りをもって学業に励みたい」と新生の言葉を読み上げた。在校生からは一級自動車整備科4年の橋本真都君が「日本の基幹産業であるこの業界で同じ志を持つ仲間として共に励まし合



いながら学業や学校行事に積極的に取り組ましましょう」と心え固い握手を交わした。式の終了後には各サークルの代表学生が新生を前にサークル紹介や勧誘のパフォーマンスを披露し和やかな雰囲気の中で対面式を終えた。

入寮式実施



本校3号棟講義室にて14人の新生寮生を歓迎する入寮式を4月13日に行った。式では、金子勉校長から「本校入学を機に親元を離れ、新生活が始まり不安なことがたくさんあると思いますが、そんな時は近くに先輩や友達がいるので一人で抱え込まないように、また今後は自己管理をしっかりとし、共同生活としてのルールを守り楽しい寮生活を過ごしてください」との話があった。

また、寮長の一級自動車整備科4年の市川嵐太君が「この寮を巣立った多くの先輩方が、全国各地で活躍しています。私達もその後に続けるように頑張りましょう」と励ました。

入寮式後には、新入寮生ひとり一人から出身地や今後の目標などが語られ、それぞれの決意を感じる事ができた。

また、4月30日には毎年恒例である親睦会(バーベキュー)を実施し、寮生同士の更なる親交を深めた。

テクノフロンティア

『TECHNO-FRONTIER 2018』が4月18日から20日、幕張メッセにおいて開催され3万人を超える来場者があった。一般社団法人日本能率協会より招待された本校は、主催企画コーナーに学生作品の目録ノードPOWER、ホンダレジェンドハイブリッド及びホンダフィットハイブリッドのハイフカットモデル

ル3台とエンジンカットモデル6台を出展した。会場では、国内のみならず海外からの出展者も多くおり、「モータ技術」をはじめ、「電源」「EMC・ノイズ対策」「モーション・エンジンリアリング」など様々な分野に特化した工業製品が展示され、出展者による講習会・セミナーも行われた。その中でも、本校ハイフカットモデルは、構造・作動を理解しやすく電気の流れをLEDで表現できるように製作しており、多くの来場者が細部まで見学し



学生作品の技術の高さに驚いていた。

この3日間本校ブースは常に満員状態で、多くの来場者に称賛された学生作品は一段と輝いていた。